

平成元年度沖繩研究奨励賞推薦の応募について

・沖繩研究奨励賞（以下奨励賞）の推薦にあたっては奨励賞規定にもとづき実施します。

・推薦対象者（以下対象者）の年齢は原則として50歳以下とします。

・対象者がグループの場合はその1グループを1人とみなします。

・対象者の国籍または出身地などは問いません。

・対象となる研究は継続中のものでも結構です。

・応募の際は別紙「沖繩研究奨励賞推薦応募用紙」を使用して下さい（学会事務局にあります）。

・「推薦書」には推薦対象者の著書・論文およびその要旨を必ず添付して下さい（下記の要領で）。ただし返却のご要望には応じかねます。

1. 関連する代表的な論文5編以内、著書（編著）3冊以内を添付し、それぞれに簡潔な要旨（B5判、

横書で2枚以内）を付ける。論文等に要旨が付いている場合は、これをB5判の大きさにコピーして付けてもよい。

なお、要旨には論文（著書）名も忘れずに書いて下さい。

2. これまでの研究業績（著書・論文など）の一覧を添え、そのうち審査資料として添付したものに○印を付す。

3. 書式はいずれもB5判、横書とする。

・推薦の締切りは9月末日ですが、郵送の場合当日消印も有効と致します。

・その他推薦に関して疑問の点がありましたら、沖繩協会・調査広報課（Tel. 03-580-0641～4）までお問合せ下さい。

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第67巻 第3号 1989年6月

和方吉信：海洋境界層を含む単純大気海洋結合モデルの不安定問題

佐藤 薫：MUレーダーにより観測された総観規模の気圧の谷に伴う慣性重力波

佐藤 威：傾斜地形上の夜間冷却と冷気流の気象・地表面・地形条件に対する感度

片岡 毅・光田 寧・塚本 修：野外観測用静圧変動計の開発

宇加治一雄・玉木克美：回転水槽中に生成される定常な傾圧波動の室内実験と数値シミュレーション

新田 勅・山田真吾：熱帯域海面水温の昇温化と北半球大気大循環に及ぼす影響

花輪公雄・吉川泰司・渡邊朝生：西部北太平洋の海面水温アノマリとENSOイベントに関する冬季の海面風応力ベクトルの合成図解所

Part I. 海面水温変動に対する解析

木村富士男：土地利用が複雑な地面からの熱フラックス：新しいパラメタリゼーションのテスト

伊藤久徳・杉村秀二：大洋風と湾風との相互作用に関する数値実験

猪川元興・永沢義嗣：網走・雄武地方の力学的に誘起されたフェーン現象の数値的研究

要報と質疑

斉藤隆幸：水路幅の一部を広くすることによる回転水槽内の傾圧波のパターンへの影響

小寺邦彦・山崎孝治：近年のオゾンホールの発達に及ぼす海面水温の影響の可能性

里村雄彦：数値的に生成された格子による圧縮流体のシミュレーション

安成哲三：熱帯の成層圏，対流圏および海面水温の準二年振動（QBO）のあいだのリンクの可能性について